



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第16号
令和2年7月22日
文責：校長 酒井康雄

親鳥は、 命をかけて守ります！

今の時期、自然界では巣立った鳥の子どもをよく見かけます。先日、キビタキのオスが、羽根を半開きにして、羽毛を膨らませ、くちばしを少し開けながらけがをして苦しそうな様子を見せていました。実は、その近くにキビタキの巣立った子どもがいて、その場所から私の気をそらせる擬傷行動だったことに気づきました。

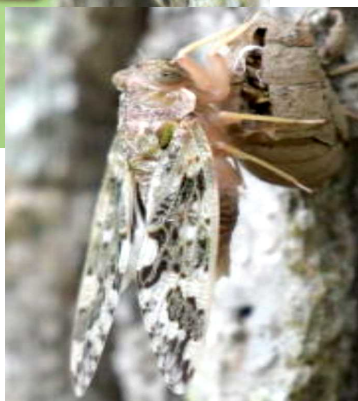
擬傷行動は、よく地面に巣をつくるチドリ仲間が有名です。敵が巣に近づくと、親鳥はけがをしたふりをして、巣から敵を引き離そうとします。鳥はどこで教わったわけでもなく、子どもを守るすべを身に付けていることに感心させられました。



夏真っ盛り!?! どんどん羽化しています！



上の写真は、ニイニイゼミの羽化の様子です。午前11時くらいから羽化をはじめ、1時間くらいかけて、成虫になりました。



20日から、学校周辺でもミンミンゼミの鳴き声が聞かれるようになりました。先週から近くの公園では、セミの羽化が見られるようになりました。

ヒグラシも
出てきました。

